

## 素敵な人生 素敵なパートナー



男女共同参画推進懇話会  
委員  
坂田 春美  
(農業女性アドバイザー)

昨年、懇話会で取り組んできました「合志市男女共同参画まちづくり条例」の草案作りも、やっと市長提出にこぎつけました。今後、市民の皆さんの意見をふまえ、議会の承認を経て条例制定となります。わたし自身、諸先輩方とともに、いろいろな啓発活動にも楽しく参加でき、男女共同参画の認識を深めているところです。

さて、わたしは今、農業女性アドバイザーとして、家族経営協定の推進や、寸劇(くまも)と農業女性ネットワーク菊池支部「レインボー菊池」で活動などを通して、男女共同参画や食育などについての啓発活動に取り組んでいます。家族経営協定とは、「夢とゆとりのある農業経営」を目指して、経営方針、役割分担給料、労働時間休日等を家族単位で話し合い取り決める経営協定の事です。昨年末には、市長立会いのもと、合同調印式を行いました。夫婦間または後

継者を交えた家族間で我が家の経営を見直し、家族の思いや立場を考え合い、仕事だけにとらわれない、めりはりのある経営のための「きっかけ」になってほしいと思っています。

人は、それぞれに生まれ持った能力に違いがあります。家庭や職場、地域の中で男性も女性も自分の能力を十分に発揮できる社会でありたいものです。しかしながら、女性だけに与えられた使命ともいえる出産・育児が、とすれば女性のハンディになりがちです。女性が安心して子どもを産み育て、未来を担う子どもたちが笑顔ですくすくと育つ暖かい社会でなければと思います。

男女共同参画というと難しく聞こえますが、それは男女が自分に責任をもち、お互いを尊重しあい、何よりも相手を大切に思いやり、おぎない合うことだと思います。

だれもが幸せに暮らせる社会は、だれかが作ってくれるものではなく、意識を変えた自分が、作り出していくものだと思って今日この頃です。条例が「絵に描いた餅」にならないよう頑張ります。

市内各学校でALT  
(英語指導助手)  
として子どもたちに英語を教えています。

ちょっと



Alison Macdonald  
(アリスン・マクドナルド)  
出身地：英国 スコットランド

## CHAT time

One of my greatest hobbies is traveling. I love to go to new places and experience new cultures. As I come from Europe, I am lucky as I have been able to visit many countries that are all very close to me. This spring break however, I discovered a new way to travel.

A friend of mine told me about a company called PEPY, who work to improve education and educational facilities in rural Cambodia. PEPY was started by 2 former ALTs, and I was interested in helping them immediately. So, this spring break I went to Cambodia with 18 other volunteers and spent 1 week helping at an elementary school that PEPY built last year. During this week, we painted and decorated 3 classrooms, we taught the students English, and we also taught them some fun workshops such as yoga, arts and crafts, world geography and origami. We also took some of the students to visit Angkor Wat, the ancient temples that are very important in Cambodian history and culture.

Although the students were some of the poorest children in the world, they were also the friendliest and most energetic children I have ever met, not to mention some of the cutest! The children we met made all of us volunteers really evaluate our lives made us think about what is important to us. I will always thank them for this.

I had an amazing time in Cambodia, and PEPY is now something that I hold very close to my heart. I am already planning to go back again next year!

わたしの一番の趣味は旅行です。知らないところを訪ね、新しい文化を体験するのが好きです。わたしはヨーロッパ出身なので数多くの近隣諸国を訪ねることができましたが、今年の春はひと味違う旅行の仕方を見つけました。

ある友達カンボジアの田舎にある教育と学校施設の向上に携わっているPEPY(ペピー)という会社を紹介してくれました。PEPYは二人の元ALT(英語指導助手、わたしと同じ仕事です)によって創設されたもので、わたしはすぐに二人に協力したいと考えました。そこで、春休み中にほかの18人のALTと一緒にPEPYが昨年建てた小学校で1週間のボランティア活動のためカンボジアに行くとこになりました。この1週間で3つの教室にペンキを塗ったり、飾り付けをしたり、英語を教えたりしました。また、ヨガ、美術、工芸、世界地理、折り紙なども教えました。数人の生徒たちをカンボジアの歴史と文化上、重要な古代寺院、アンコールワットに引率したりもしました。子どもたちは世界の中でも最も貧しい生活をしているのですが、こんなに人なつっこく、元気な子どもたちと出会ったことができ、何が大切なのかを考えることができました。このようなことを学ぶことができたことに、これからも子どもたちに感謝し続けることでしょう。

わたしはカンボジアで素晴らしい時間を過ごすことができました。PEPYは今ではわたしの心の大切な場所にあります。来年もまた参加したいとすでに計画を立てています！

## こうし歴史発見!

第2回

市指定文化財

### 竹迫城絵図

(合志歴史資料館 衛藤久米男氏蔵)



文政8年(1825)仏教寺の末流である大塚惟矩(おつかのこれり)によって描かれました。縦61cm横109cmの和紙に絵具を使用し、竹迫・合志氏時代の城跡や館・寺・田・道路・集落、空堀の状況が克明な説明文と共にカラフルに描かれています。絵図中の惣構え(大規模な外堀)は現地を歩くときでも確認することができ、これは全国的にも珍しい事例です。絵図は2幅あり、以前は竹迫在住の衛藤久米男さんと、柳川在住の神殿エツさんがそれぞれ所有していました。「竹陽古今考」によれば、筑後北の関に住む竹迫氏の子孫・竹迫貞右衛門が、肥後の私塾を開いていた久野先生に依頼したのが絵図作成の始まりのようです。2幅の内容は少し異なる点があり、説明や下書きの線が多くみられる竹迫の絵図は、地元に残すための控えであったと考えられます。依頼主には清書された絵図が納められ、それが子孫である神殿さんに伝わり現在に至ります。

絵図は竹迫城城域を推測する上で大変貴重な資料として合志歴史資料館で公開しています。

文化財保護委員会から

わたしが文化財保護委員会に携わるきっかけとなったのは、旧西合志町史編纂に地元編集員として従事したことでした。地元委員を引き受けた時点ではまだ現役の身で、2足のわらじで八面六臂の状態でした。20代のころ、勤務地の南九州で、仕事の合間にさまざまな史跡を見て回り、歴史の知識を蓄積したのが現在につながっています。今では郷土史愛好会、熊本地名研究会および古文書の会にも籍を置き、郷土史学習を続けています。



市文化財保護委員会  
副委員長  
伊藤 英夫

## みんなで築こう

### 身近な安心・安全

毎年5月は「消費者月間」です。

最近、エレベーターによる事故、石油温風器や湯沸かし器による一酸化炭素中毒事故など身近な生活用品による事故が相次いで報じられています。これらの多発する事故情報を受け、5月に「消費生活用製品安全法」が改正されます。事業者は、消費生活用品の重大事故が発生した場合、事故の事実を知った日から10日以内に事故情報を報告し、公表するよう義務づけられます。

法改正を機会に身近な製品の取り扱い説明書に目を通し、特に、「注意」「警告」の表示には気を付けましょう。また、最近の製品は長持ちしますが、部品は劣化します。長年使用している製品は点検を怠らないようにしましょう。

#### 問い合わせ先

総務課 交通防災班(合志庁舎)  
☎(248) 11112

